

うしくでびっくり!

NO53

おのがわとくらこのまね

作 おくの地区社 飯田昭夫

なっちゃんが、
おかあさんと おの
がわをさんぽして
いるときのこと。



「むかしおのがわは、とても
げんきだったんだよ」

「え～、うそ！ しんじられ
ない！ どうしてなの？」

「ん～、それはね・・・。は
っきりわからないわ。おじい
ちゃんにきいてごらん」

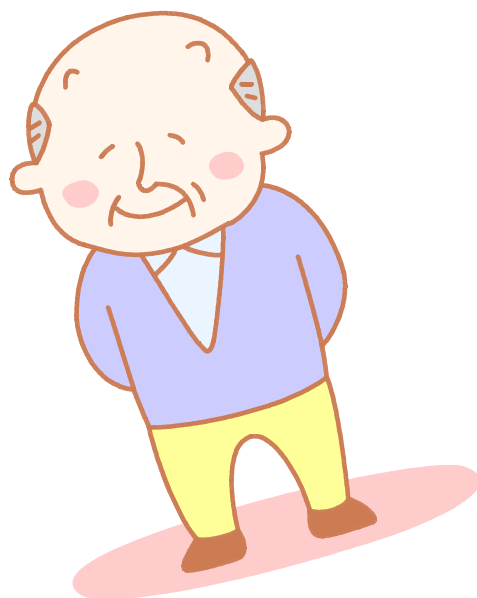


おじいちゃんに
きいてみると

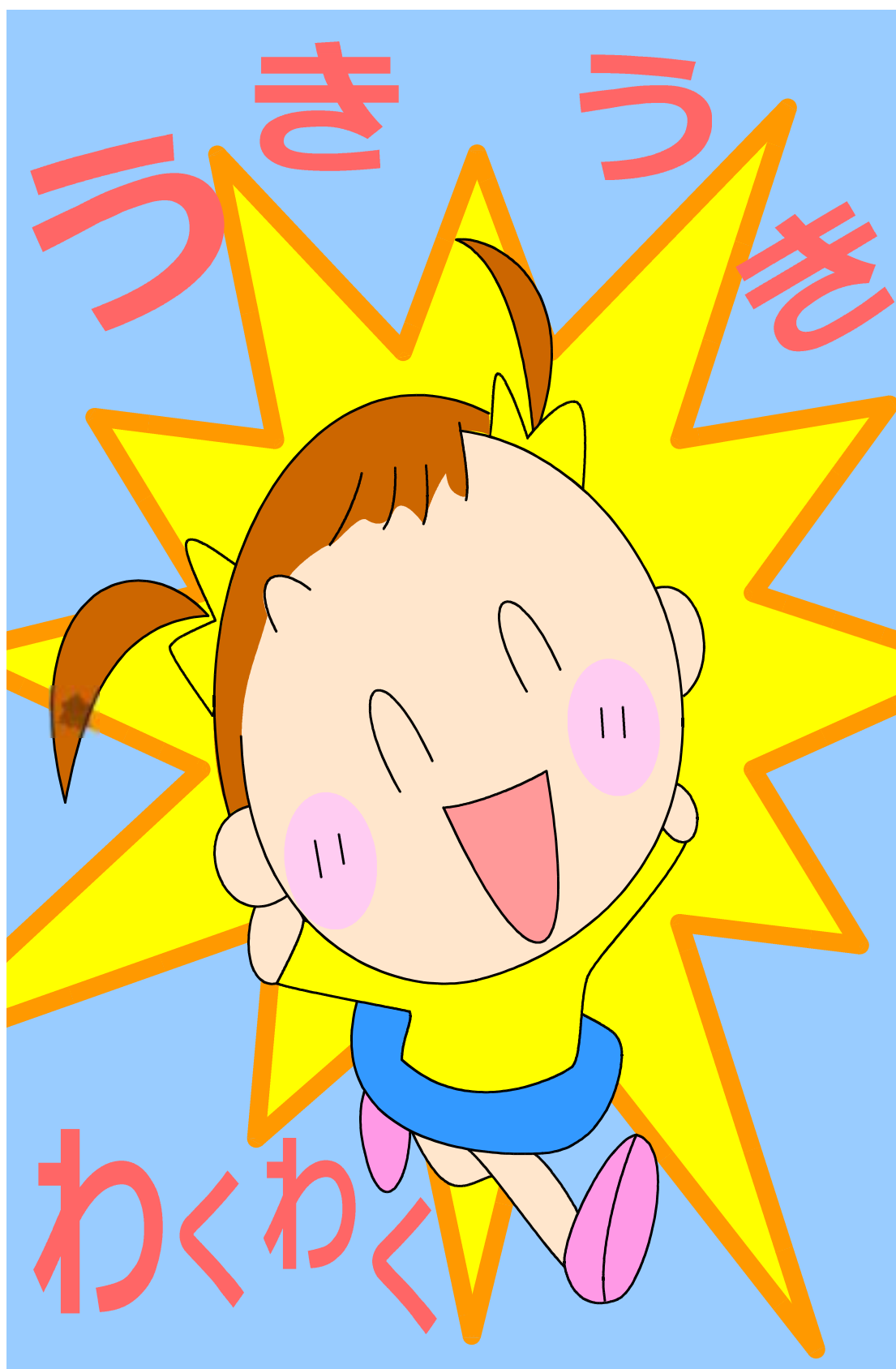


すると、

「むかし、ここに、小坂河岸^{おさかがし}があつて、ふねで、えどまで
たくさんのはをこんでい
たらしいんだよ。くわしいこ
とは、あきおさんにきいてみ
ようか」







なっちゃんとおともだ
ちとおじいちゃん、あ
きおさんのいえにいっ
た。

あれあれ、これはおもしろそうと、な
ぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。
どこかな？



わたしは、なぜなぜでーす。

いえにつくと、さっそ
くあきおさんが、はなし
てくれた。むかしむかし、

いまから やく 6000 年前。
たいりくやなんきよく・ほっ
きよくのこおりがとけて、か
いめんが4・5メートルあが
ったんだ。びっくり！ する
と、**おかみおおはし**あたりま
で、うみのみずが、あがって
きたんだ。びっくり！



そのしょうこに、うみのか
せき **トウキョウホタテ**が、み
つかったんだって。びっく
り！ それだけじゃない。ウ
バガイ・ヤツシロガイなどの
かせきも みつかったんだ。



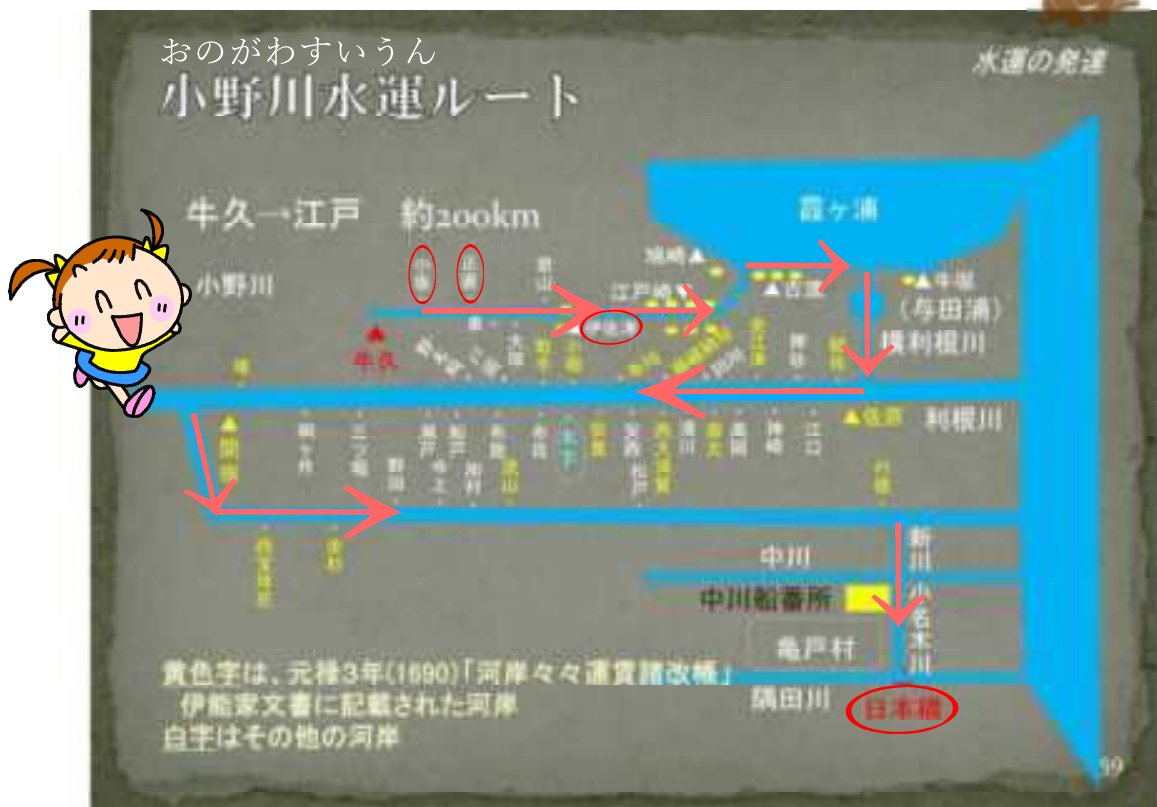
すごい！
このちかくまで、うみがきていたんだ

えどじだいには、おのがわ
をつかって、こめやまき・す
みなどをたくさん えどまで
はこんだんだよ。

「え！、このかわが？

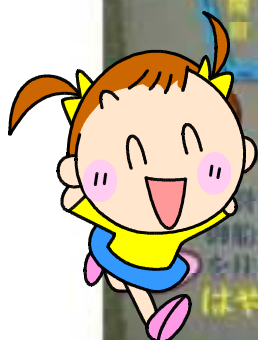
えど（東京）まで、つながってい
たの？！」びっくり！

このずのようにね・・・



ちなみに、みとはんでは、
 かすがうらのくしびきからみ
 とはんこうめてい（スカイツ
 リーあたり）まで、いきはほ
 とさおをつかって9にち。

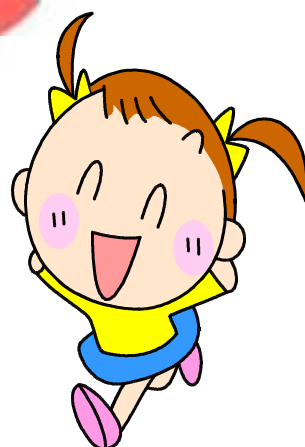
えどがわは、くだりのきゅうりゅうだった
 ので、せきやどからぎょうとくまで1にちで
 いけたんだ。



ぎゃくにかえりは、14に
ちかかったんだ。どうしてだ
とおもう？

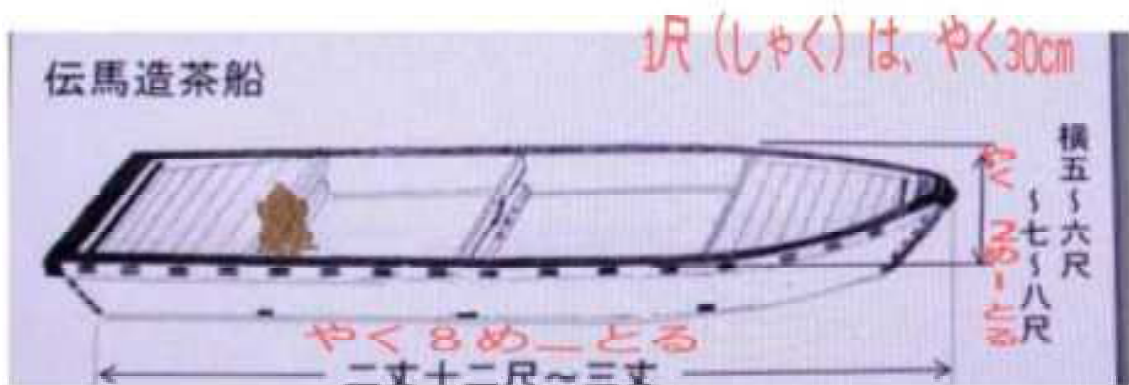
それはね・・・。**えどがわ**
のきゅうりゅうをのぼるので
いつかもかかったんだって。

びっくり!



でも、たいへんだったんだ。
おのがわは、あさくて まがり
くねったかわだったんだ。
「それじゃ、ふねが、つかえ
なかったんじゃないの？」
「そうなんだよ。そこで、く
ろうしてつくったのが、この
ふねなんだ。

でんまつくりちやぶね



このふねだとこめ25ひよ
うはこべたんだよ。ほかのほ
うほうとくらべると、



※ したのひょうは、はこぶちからくらべだ。

はこぶちからくらべ

江戸時代の輸送力

江戸時代の輸送力	
たかせぶね 利根川高瀬船	200～1200ひょう 200～1200俵
軽下船 伝馬造茶船・小鵜飼船	240～480俵
馬 うま	2俵 (1駄) 2ひょう
人 ひと	1俵 1ひょう

ひとは、1ひょう、**うま**だと2ひょうしかはこべなかった。しかも、この**ふね**だと伊佐津で**たかせぶね**につみかえてはこべば、もっとたくさんはこべたんだ。

だから、**おのがわ**のまわりは、とてもげんきだたんだ！

「あ！　そうか、**おくのちく**
が、せきやはんのりょうち
だったのは、こめ・まき・す
みなどを**おさか**から**せきやど**
まで**おのがわ**をつかって、は
こぶことができたからだった
かも？！」



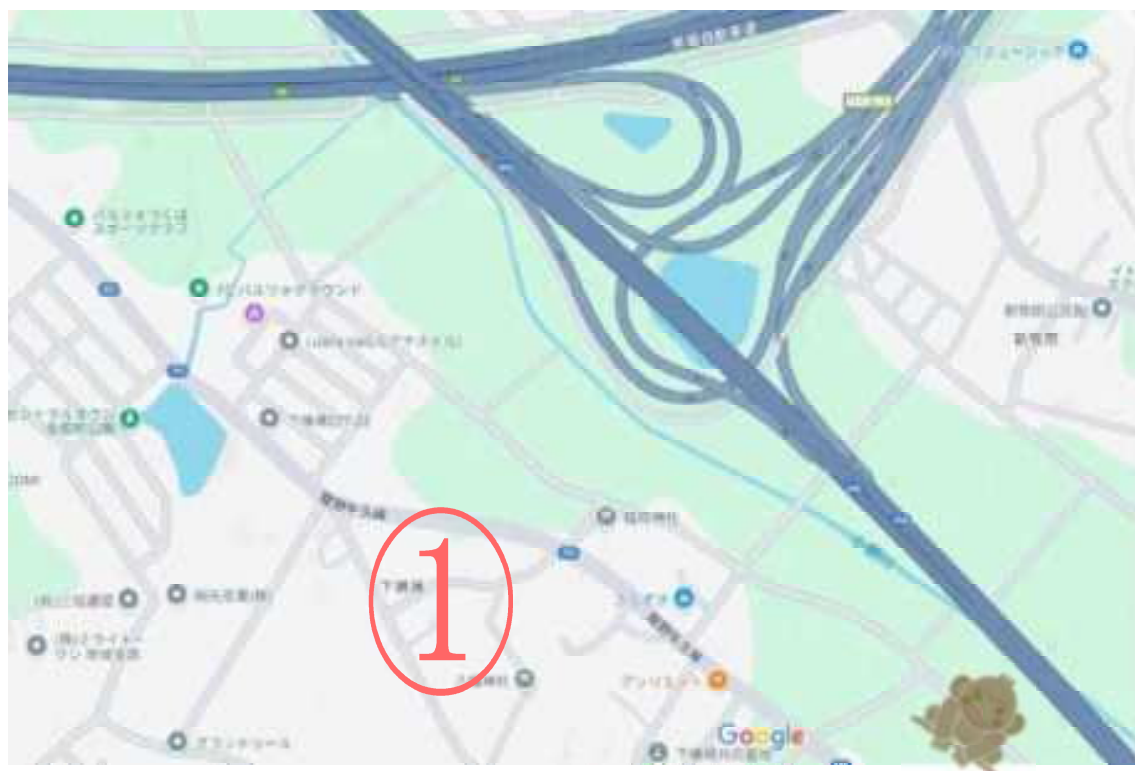
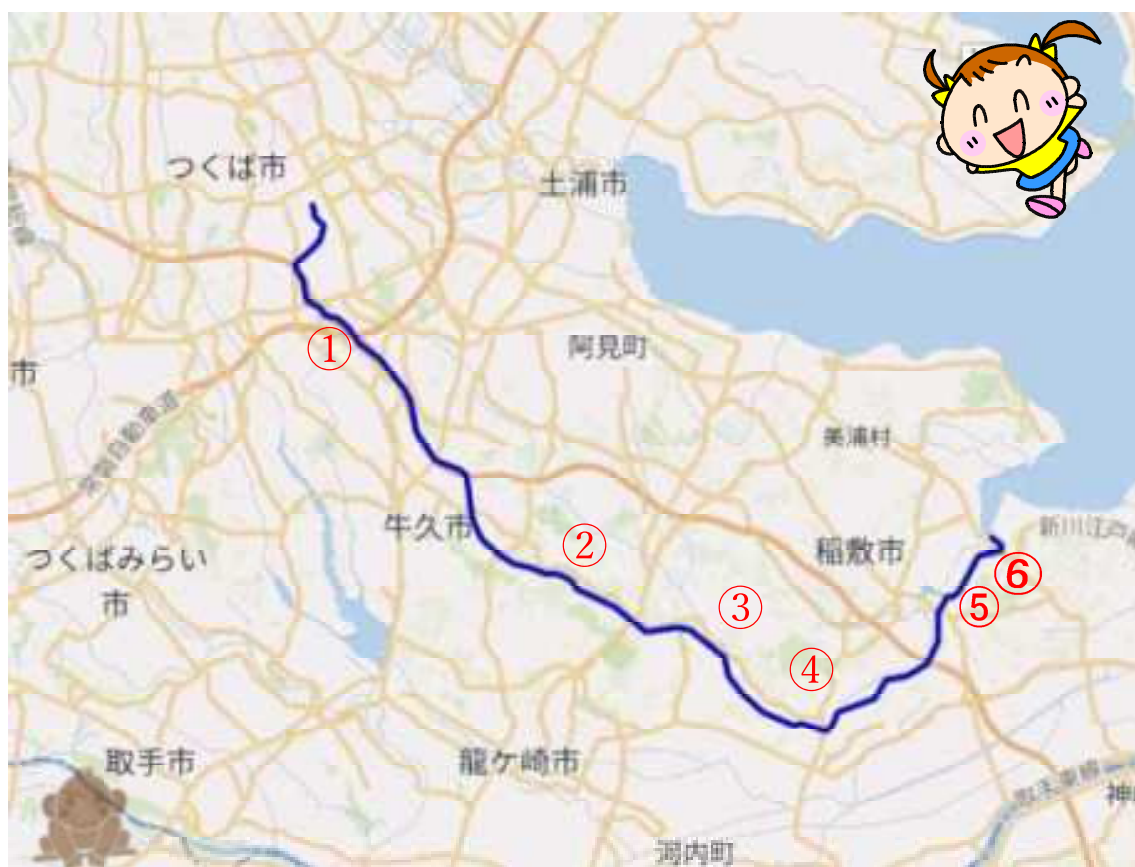
それだけじゃないんだ。お
のがわのまわりには、いせき
やこふんが、たくさんあるん
だ。そこから、たくさんのひ
とが、ここにあつまって、げ
んきにくらしていたことがわ
かるんだよ。

つぎのページのちずをみて
ね。

まずは^{じょうりゅう う がん}上流右岸の

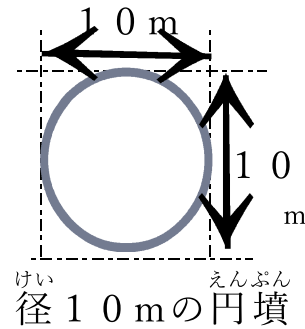


①^{しも よこ ば こ ふん ぐん}下横場古墳群からはなそ
うね。



① 下横場古墳群

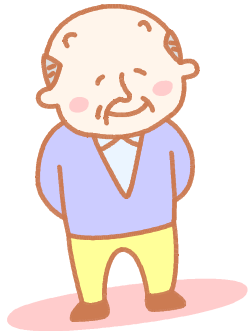
の古墳は、径 10 m
～ 20 m の円墳 4
0 基がみつかつて
いるんだ。6 世紀の
古墳時代のものだ。



どんなものが、
でてきたの？



じんぶつはに
わが、でてきた
んだよ。これだ
よ！



はかをまもるための

たてをもったすがたの埴輪。
（東京国立博物館でほかん）

※どうして、はにわをいれたのかな？



中流左岸には、土塁や堀
が、とてもよくのこってい
る戦国時代の小坂城あとが、
あるんだ。

かいだんを
のぼると、
ひろくたい
らなところ
が、おれま
がったほり
やどるい
で、4つに
くぎられて
いるんだ。

※岡見氏のおしろで、
東条氏とのたたかいが
あったんだ。



ここだよ！

どっちが
かったの？



おかみし
岡見氏だよ！



すごい!



③おなじく^{ちゅうりゅう}中流^{さがん}左岸には、
奥原^{おくばら}遺跡^{いせき}。とくにゆうめい
なのが、姥神^{うばがみ}遺跡^{いせき}なんだ。

おくばらいせき
奥原遺跡のなかの



うばがみいせき
姥神遺跡では、こんなつぼ
が、みつかっているんだ。



ここに
あるしゅうこ
う（周溝）
から、そと
がわがベン
ガラ（あか
いこな）で
ぬられ、そ
こにあなが
あけられて

いるつぼだ。さらにこんなも
のまで……。うしくきよ
うど（郷土）カルタに
こんなカードが？ それ
がこれだ。



「ほうじゅけん（宝珠硯）って？」

しゅうじのつづりだよ。

こうした**とき**のはっけんから、
 こだいとうかいどう（古代東海道）
 やしだぐんが（信太郡衙：いまのやくばのようなしせつ）
 とのかかわりが、あったらしい

んだ。そのほか^{たてあなじゅうきよあと}堅穴住居跡 156 けん、^{ほうけいしゅうこう}方形周溝墓 3 基
^{かま}や鎌や^{すき}鋤、『夫倍』『仲止夫』などの^{ぼくしよど}墨書土器などがみつかったんだ。つぎのずをみてね。

④ 古代東海道

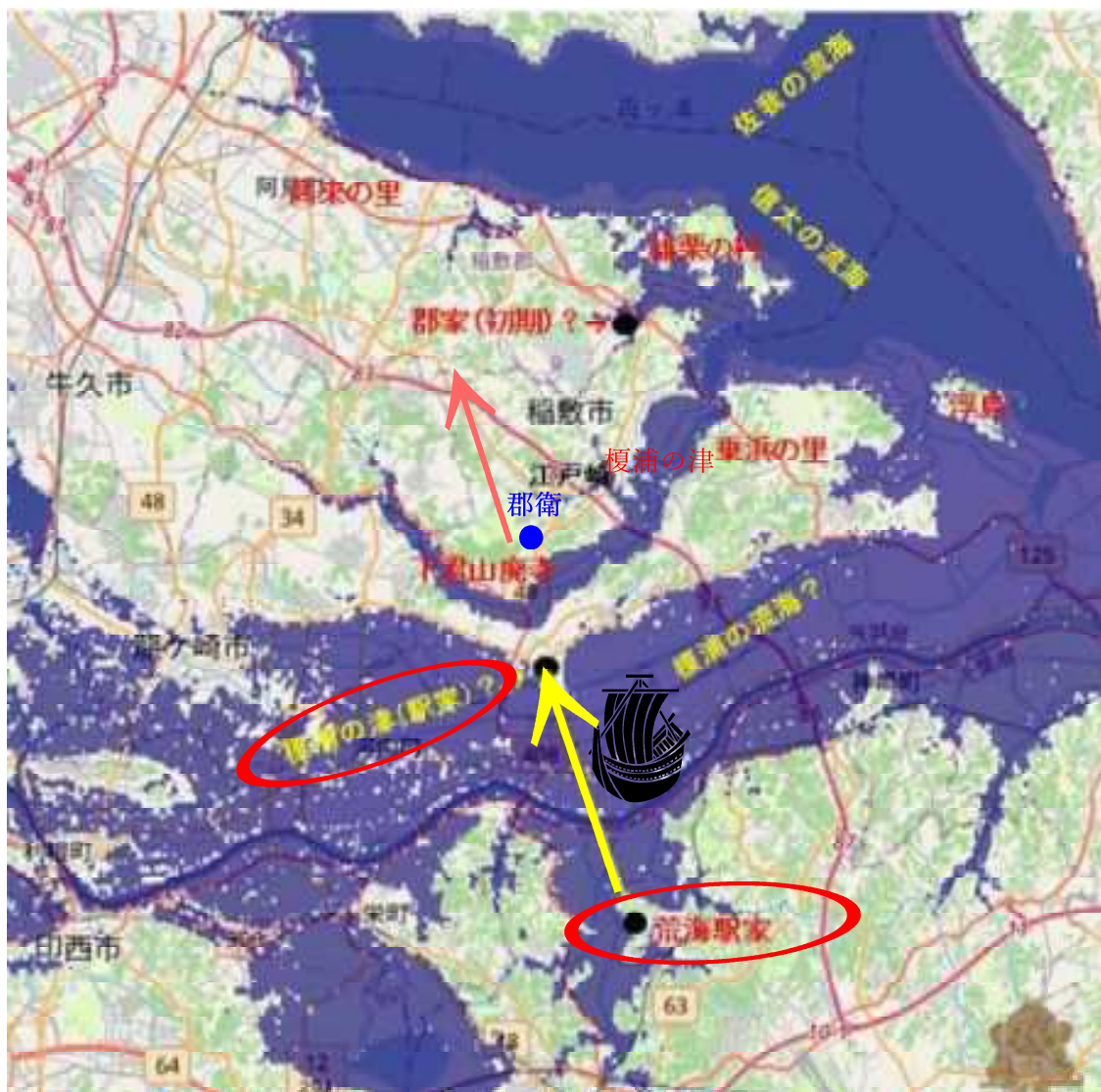


はりががえき げん いばらき けんりゅう がさき しはん だちよう ふきん
※ 榎谷駅（現・茨城県龍ケ崎市半田町付近）

おなじく左岸に、
下君山廃寺 ● があ
るんだ。常陸国の
入口「榎浦の津」
には、駅家もあったそうだ。



※ 奈良時代の国司は荒海から榎浦の津にふねでやってきて、常陸国国府（石岡）にむかったとかんがえられているんだよ。「へ～、そうなんだ」



(まほらの里より引用・加筆)

1. この付近は昔山崎町であった。
 2. 山崎町は明治時代、350-400戸の村であった。
 3. 山崎町は明治時代、350-400戸の村であった。
 4. 山崎町は明治時代、350-400戸の村であった。



https://www7b.biglobe.ne.jp/~s_minaga/ato_simokimiyama.htm より



しもきみやまはいじしんそ
下君山廃寺心礎

・ちゅうしんばしらをうけるもの。

このちかくに信太郡衙（やくば）が、あったといわれているんだ。

※「信太郡衙」は、もとは信太にあったが、にちに下君山にうつったらしいだ。

「どうしてなの？」

下君山は、おのがわの水運と駅路（官道：いまでいえば国道かな？）が、まじわるところだからだよ。

「へ～、べんりなところだったんだね」

(写真：朝日新聞古代東海道を歩こうより)

そして、下^{しも}君^{きみ}
山^{やま}をとおって、
江^え戸^ど崎^{さき}カント
リー倶楽部の



にしがわのこみち、稲荷^{いなしき}神社。

そのさき、げんざいの稲敷^{いなしき}
市^しと牛久^{うし}市^{くし}のさかいが、ほぼ
まっすぐになっていて、いま
もせまいながらどうろがつづ
いているのが、古^こ代^{だい}東^{とう}海^{かい}道^{どう}の
あとだといわれているんだ。

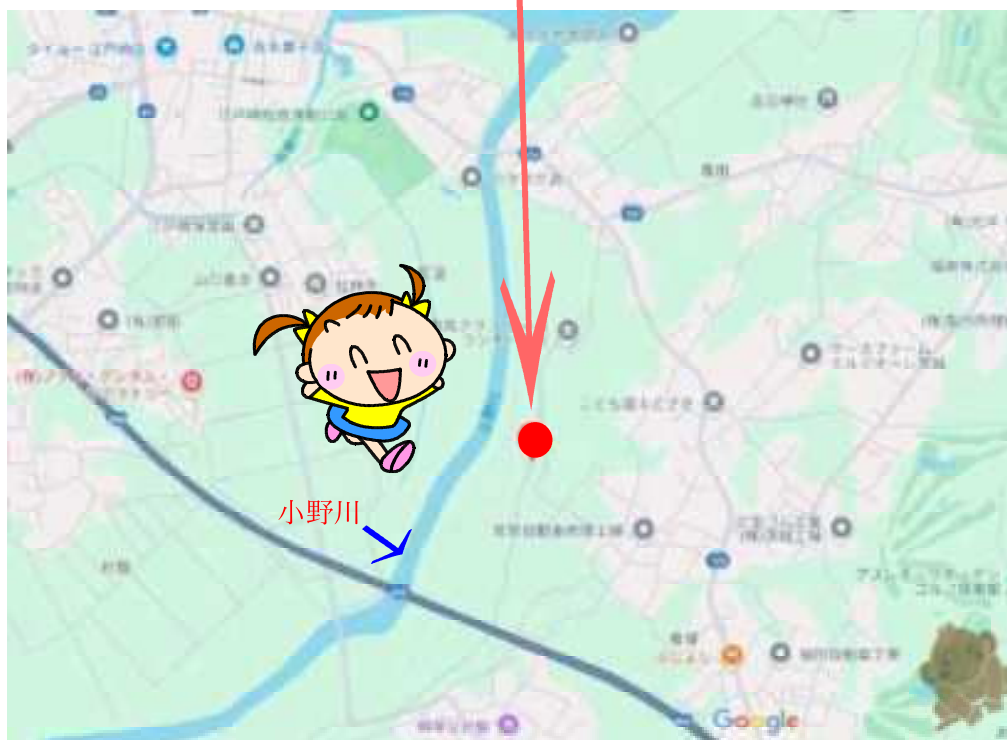
そして、飯^い倉^{いぐら}・追^{おつ}原^{ばら}へうか
うんだよ。

「どこまで、つづ
いているの？」

へいあんきょう ひたちくに
平安京～常陸国
こくふ いしおか
国府（石岡）まで
なんだ。

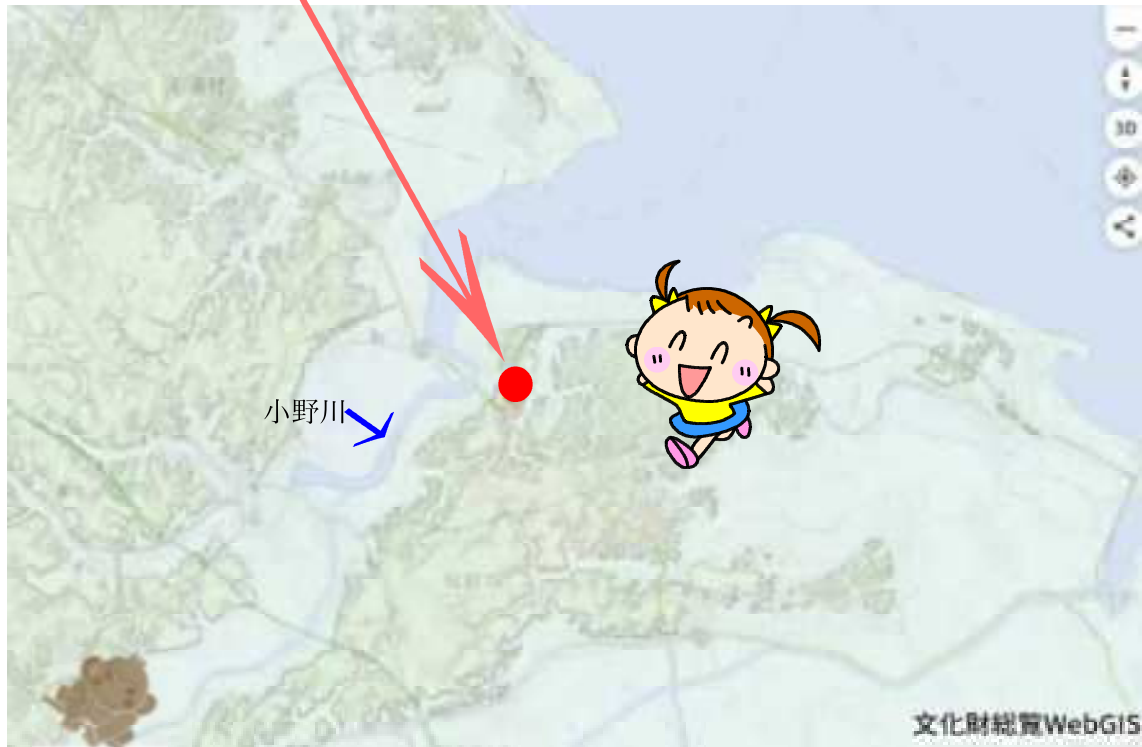


かりゅう うがん しいづか かいづか
下流右岸の⑤椎塚貝塚。



かんとうちほう
関東地方のだいひょうてき
かいづか
な貝塚なんだ。

さらに小^お野^の川^が河^わ口^かふ^こきの
右^う岸^がの⑥柏^{かしわ}木^ぎ遺^い跡^せには、



竪^た穴^て式^あ住^な居^しあと81けん。
掘^ほ立^つ柱^た建^て物^ばあと10とう。ど
きのなかには、「柏^{かしわ}木^ぎ」「前^ま平^え」
などと墨^ぼ書^くされたものがあっ
て、このち^ちい^いき^きのち^ちゅう^{ゅう}しん
てきなし^しゅう^{ゅう}らく^{らく}だったん
だ。び^びっ^っく^くり^り！

こうして、さんにんは、
おのがわが、おくののた
からものの一つだという
ことが、よーくわかった。

**おのがわ
すごい！**



いまでも、**おのがわ**は、灌漑^{かんがい}
(さくもつをつくりやすい**み**
ずのりょうをながすこと)を
するためにつかわれているん
だよ。

土浦市^{つちうらし}の桜川河口^{さくらがわ かわ ぐち}からポン
プでみずをくみあげ、**おのが**
わにおくっているんだ。

「いまでも、たくさんの**ひと**
をげんきにしているんだね」

びっくり!

あて



こんどは、なにしらべ
ようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。



またね